Accent Boundary between Middle Type and Outer Type in Niigata Prefecture

メタデータ	言語: jpn
	出版者:
	公開日: 2017-10-02
	キーワード (Ja):
	キーワード (En):
	作成者:
	メールアドレス:
	所属:
URL	http://hdl.handle.net/2297/5110

新潟県における中輪・外輪両アクセントの境界線

上　野　善　道

1．ねらい

金田一春彦氏によれば，いわゆる〝東京式アクセント〟は，「内輪東京式アクセント」「中輪東京式アクセント」「外輪東京式アクセント」に分かれる（この命名の初出は「群馬県下のアクセント」季刊『国語』3.1948らしい）。その「内輪式」「中輪式」「外輪式」の全国的分布は，氏の『国語アクセントの史的研究――原理と方法』（塙書房，1974）や「愛知県アクセントの系譜」（国語学懇話会『国語学論集』第一輯，笠間書院，1978）に付載の分布図で簡明に，同じく「アクセントの分布と変遷」（『岩波講座日本語11方言』1977）の分布図で詳細に見ることができる。

これらによれば，新潟県には，佐渡は別にして，いわゆる「京阪式アクセント（の変種）」が西端に，そして東に順に「中輪式」と「外輪式」（および「外輪式の変種」）が分布している。このうち，富山県境付近における「京阪式」と「中輪式」の境界とその動態は，平山輝男，渡辺富美雄，川本栄一郎等の諸氏の調査研究によって明らかになってきたが，もう一方の，「中輪式」と「外輪式」との境界の方は，これを積極的に扱った発表物は，管見の及ぶ限り無いようである。

推測するに，これは，「中輪式」と「外輪式」が共に〝東京式〟で一括されるのが通説であること，そしてもう一方の対の〝京阪式〟との境界が，語法を主とする東西両方言の境界に一致するといっていい所から生じたもので，それがために〝東京式〟内部の差は一般に重要視されなかった，あるいは後廻しにされたものであろう。

しかし，〝東京式〟は，〝京阪式〟でも同様であるが，曖昧な所のある概念である。それを三分した「内輪式」「中輪式」「外輪式」の分類の方が系譜的にははるかに筋が通っている。

すなわち，まず，音調型は別にして類の統合の仕方を見ると，

	内　輪　式	中　輪　式	外　輪　式
1音節語	1/2・3	1・2/3	1・2/3
2音節語	1/2・3/4・5	1/2・3/4・5	1・2/3/4・5

で，1音節語に内輪と中・外輪の差が，2音節語に内・中輪と外輪との差が出ている。いずれもそれぞれ＊1/2/3，＊1/2/3/4・5の区別を有する祖形から別方向に分かれたもので，当然三者を鼎立させるべきである。

この三者の関係をもう少し具体的レベルまでおりて考えてみると，1音節語における内輪式と中輪式の差は，金田一氏に従って解釈すれば，音節構造(この場合は長短)の差によって生じたもので，〝京阪式〟からのアクセント変化の性質そのものは同質である。それに対して2音節語の内・中輪式と外輪式の差ではそのような条件は見出しえない。すなわち外輪式は異質である。氏が愛知県アクセントを実例にして示した表1（前掲論文1978，p.2より摘出し，新たに仮番号を付した）における内輪式と中輪式の差も，氏の解釈のように，やはり音節構造（無声化，長短，二重母音等）か類推によって説明できるものである。それに対して外輪式は，中輪式と一部重なるものの，そ

表　1　三類型の異同(1)（金田一氏による）

		内輪(尾　張)式	中輪(西三河)式	外輪(東三河)式
1	小豆が，毛虫が	○●●○	○●●○	○●●●
2	力が	○●○○	○●●○	○●●●
3	命が，姿が	○●○○	○●○○	●○○○
4	見た，出た	○●	●○	●○
5	咲いた，泣いた	●○○	○●●	○●●
6	明けた，上げた	○●○	○●●	○●●
7	赤い，堅い	○●○	○●●	○●●
8	蚊まで	○●○	○●○	○●●

注）区別のない所の仕切りには点線を用いた。

表　2　三類型の異同(2)（同上）

		内　輪　式	中　輪　式	外　輪　式
9	兎が，鼠が	○●●●	○●●●	●○○○
10	赤く，堅く	○●○	○●●	○●●
11	蚊も	●○，○●(○)	○●	○●

		内　輪　式	中　輪　式	外　輪　式
12	風も	○●○, ○●●(○)	○ ● ●	○ ● ●
13	風まで（＝8）	○ ● ● ○	○ ● ● ○	○ ● ● ●
14	すれば，泣けば	○ ● ○	○ ● ○	○ ● ●
15	置くな，泣くな	○ ● ○	○ ● ○	○ ● ●

の特異性は，表1でも表2（同論文p.4から摘出し補充したもの）でも基本的に変わらない。また3音節語の類の統合の仕方は種々の問題があって単純ではないが，全体としては内・中輪と外輪の対立となっている。

以上のことは，内輪・中輪式と外輪式の対立の持つ重要性を意味している。金田一氏も，外輪式は他よりも早い時代に別れたものと見ている(1978, p.4)。金田一氏の分布図，とり分け1974年の著書のものによれば，内輪は中輪とのみ接しており，直接に外輪と地理的に接することはないが，この事実は上記のことに関連がありそうに思われる。

このような意味付けを持ちうる中輪／外輪の境界線の実態がいかなるものであるかは興味がある：中輪／外輪の対立を示す候補の2音節名詞第2類や表1・2の項目の等語線は，一ヶ所にかなり固まって両者が截断されるであろうか，それとも項目によってバラツキがあって漸層的移行を示すであろうか。2音節名詞第2類の語彙の内部が大きく2つのグループに分かれることはないであろうか，等々。

これは新潟県の場合に限らない全国的な問題でもある。上記の諸点に関して，各地の中輪／外輪の境界線に共通の特性があるか，そしてそれ以外のアクセント境界線との異同は，という問題である。特に2音節名詞第2類の語彙が，各地の中輪／外輪の境界域で平行的分かれ方をしているか否かは重要である。これは祖語におけるアクセント体系や，アクセントにおける地理的接触・影響のあり方，言い換えればアクセント史そのものに当然関連してくる。正に寺田泰政氏が『遠州方言のアクセント』(美哉堂書店, 1970)のp.133以下で問題とした点である（なお同書への金田一春彦氏の序も参照)。

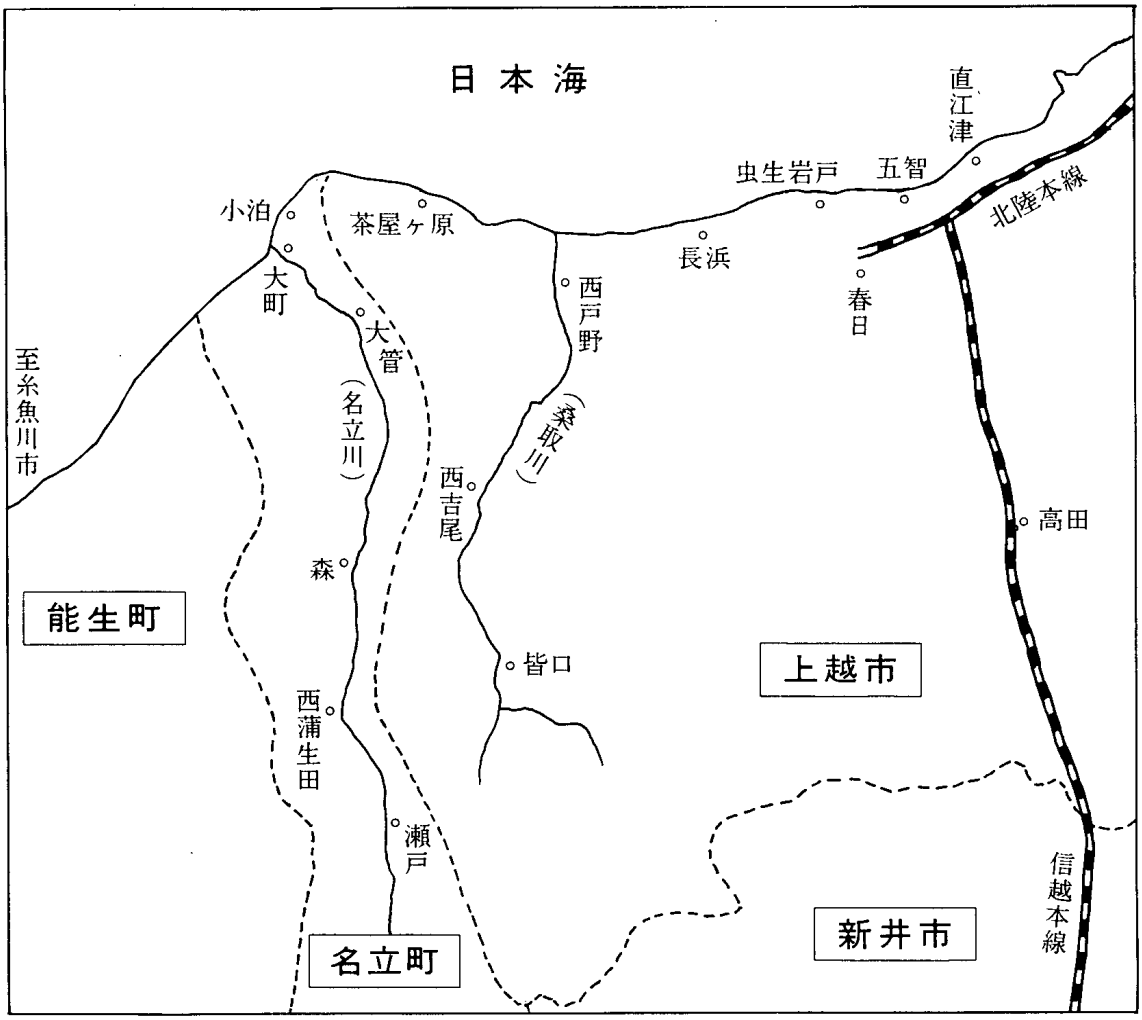
本稿は，このような問題意識に立ちながら進めつつある中輪／外輪境界地域調査の第一報として，最も公表が少ないと見られる新潟県について，できるだけ多くの資料を呈示することをねらいとしている。

2．調査地点，話者など

調査地点は図1に示した15地点で，西頸城郡名立町と上越市に属す。(当初，

金田一氏の分布図から糸魚川市と名立町との間が境界と判断し，外輪側と思った名立町から調査を開始した。しかしそこが中輪式と判明したため，上越市の桑取(クワドリ)谷に入り，そこから順に東に調査を広げていったものである)。この地域は直江津から海岸沿いに糸魚川の方まで主要道路が通ってそこに大きめの集落がある他，名立谷と桑取谷に集落が点在している。名立谷と桑取谷の間には峠越えに交流があったという。瀬戸と皆口の奥はそれぞれ事実上の行き止まりである。調査は1980年３月下旬に行なったが，瀬戸あたりはまだ積雪が家の屋根まで達するほどであった。北陸本線はほとんどがトンネルで，長浜付近でわずかに地上に出るにすぎない。この辺りの文化的中心地は直江津と高田である。

図１　調査地域



次に調査地点名〔集落名〕，話者名と生年を示す。

西頸城郡名立町大町(オオマチ)　　高橋　雄三氏(M・42)
〃　　〃　名立小泊(コドマリ)　　細谷　貞治氏(M・34)

西頸城郡名立町大管(旧名立村)　秦野　兵閲氏(M・36)
〃　〃　森(〃)　森田與之男氏(M・36)
〃　〃　西蒲生田(〃)　竹内　良美氏(M・43)
〃　〃　上瀬戸〔瀬戸〕(〃)　高宮　栄雄氏(M・36)
上越市西吉尾(旧中頸城郡桑取村)斎京　喜作氏(T・4)
〃　皆口(　〃　)　飯塚助左ヱ門氏(M・44)
〃　茶屋ヶ原(旧同郡谷浜村)　田中　ヒデ氏(f.)(M・44)
〃　西戸野(　〃　)〔西戸野花立〕　丸山　博氏(T・6)
〃　長浜(　〃　)　小林　正三氏(T・3)
〃　虫生岩戸(旧同郡春日村)　増崎　千六氏(M・37)
〃　五智(　〃　)　堀川　利次氏(M・45)
〃　春日(　〃　)　風間　瑞穂氏(T・3)
〃　中央5丁目(旧直江津市)　中戸賢亮氏(M・29)/中戸淳亮(S・9)他

地理的にしらみつぶしにはなっていないし，数も多くないが，これでもこの地域の様子は一応とらえられると思う。ただし重要な境界線となっている長浜と虫生岩戸の間には，集落名は同じ虫生岩戸ながら，上記の話者のいる郷津の他に，より長浜寄りに狭義の虫生岩戸がある。ここは是非調査したかったのであるが，該当者が二人しかいないという小さい集落で，しかもあいにく二人とも留守でどうにもならなかった。

3．調査結果

3.1　調査で得られた資料を一覧表の形で示す。地点の配列は第2節で示した順に従う。地理的に一直線をなしていないので，分布を考えるには図1と見較べる必要がある（例えば表5の末部の「蜜蜂」の頭高型は，これでも海岸沿いに連続分布をなしていると言える状態にある)。類別は金田一氏の前掲著書にそのまま従って語例を拾い，若干のものを「その他」として加えた。

アクセント体系そのものは東京と同じで，/˥/ によるPn＝n＋1の区別を有する。句の上昇も，第1モーラに核のある場合を除いて，第2モーラからほとんど例外なく生ずる。

一覧表に用いる符号は次のように定めた。(この配列は，たまたまある項目に用いたものを一貫させたまでで，深い意味はない。むしろ，前または後ろから数えた核の位置で一貫させた方が分かりやすかったかもしれない。)

○＝/○，　○○，　○○○，　○○○○，　○○○○○/
＋＝/　　○○˥，○○○˥，○○○○˥，○○○○○˥/

∩=/　　○○¹○，○○○¹○，○○○○¹○/
－=/　　○○¹○○，○○○¹○○/
△=/　　○○¹○○○/
□=/○¹，○¹○，○¹○○，○¹○○○，○¹○○○○/

いわゆる〝訛語形〟――ヨ(湯)，エモ(芋)，エキ(雪)，メメズ(みみず)，エグ[g](行く)，シグ[g](死ぬ)，アスブ(遊ぶ)，ガエル(蛙)，ヨンベ(夕べ)等――や，ワラッタ/ワラータ(笑った)，アカク/アカー(赤く(なる))，「火事」などのkw-/k-等の分布は本稿の主テーマではないので表には示さなかった。ただし，イン(犬)，マー(馬)，クヮー(桑)など核の位置に影響を与える語形や，ヘーロ(蛭)，ヘービ(蛇)などの長音形が出るものを中心に，○＋∩□のゴチ符号で示し注記することにした。これらの現象が関連して現われそうな単語はなるべく確認するよう努めたものの，なお聞き落した所もある。記述調査と異なり，次の地点で出た形をそれまで調査した地点すべてに戻って確かめる時間的余裕も分布調査では得られないのが普通なので，その点ではどうしても限界がある。これに関連して言えば，境界線の両側で1地点ずつ記述調査をすべきであろうが，まだ果していない。

また1音節語の長短の取り扱い方――ほとんどの地点で何らかの形で長音形が出る――にも問題が残るが，表にはすべて短い形にまとめて掲げた。3音節語はもっと問題で，○$\overline{○}$○ →○$\overline{○}$○(○)，○$\overline{○○}$ →○$\overline{○○}$(○)の他に，○$\overline{○}$○～○$\overline{○}$$\overline{○}$，○$\overline{○○}$～○$\overline{○}$$\overline{○}$，○$\overline{○}$$\overline{○}$ →○$\overline{○○}$(○)，○$\overline{○}$○ →○$\overline{○○}$(○)～○$\overline{○}$$\overline{○}$(○)と聞こえるような発音の出る地域があり，遺憾ながらそれらの間の対立の有無を明らかにし切れないまま帰ってきた。(この現象は，あるいは寺田泰政氏や山口幸洋氏が静岡県で発見したものに類似するか？寺田前掲書p.96ff.など参照。) その疑問の所は《？》を付し，話者自身の側における(？)と区別したが，この点が一番気掛りである(表5の第4類で/○○¹○/の分布が明瞭でないのは，私の不備によるものが含まれているためかもしれない)。

⌒は併用形，(　)は原則としてその一方への注記を表わす。(希(マレ))はその意味する所が単一ではないが一括した。それに代わる語形は，得られても特に表には示さなかった。空欄は種々の理由から調査をしなかった箇所である。最右欄直江津のA/Bの表記は老/壮の対立のあるものを示す。なお，2～3地点しか調査しなかった項目は省略したが，それ以外は，動詞の命令形（後述）と否定形，および助詞の続き方を調べる際に用いた文例中の若干の語彙を除き，調査項目としたものはすべて表にしてある。

表 3. 1音節名詞

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
第1類															
柄	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
蚊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
戸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
血	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
帆	○	○	□	○(希)	□	○	□	□	○	□	○	○□	□	○	○
第2類															
名	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
葉	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
日	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
矢	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
藻	○(希)	□(希)	○	○(希)	○	□	○	○	○	□	□	□○	○	□(希)	□
第3類															
絵	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
木	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
酢	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
田	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
手	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
根	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
火	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
屁	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
穂	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
目	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
芽	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
湯	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
輪	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
第x類															
毛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
巣	○	○	○	○	○⌒□(?)	○	○	○	○	○	○	□	○	○	○
背(身長)[1]	□	□	□	○	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
歯	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
刃	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	注1） □＝セーと長母音でのみ用いる。														
その他															
胃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
気	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
痔	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
茶	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
実	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
九	□	□	□	□	□	□	○	○	□	□	□	□	○⌒□	□	○⌒□
五	□	□	□	□	□	□	○	○	□	□	□	□	○⌒□	□	○⌒□
二	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	○⌒□	□	□
四	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	○⌒□	□	□
苦	□	□	□	□	□	□	□	○	□	□	□	□	□	□	□
碁	□	□	□	□	□	□	□	□	○	□	□	□	□	□	□
字	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

表 4　2音節名詞

第1類															
飴	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
牛	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
梅	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
枝	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
海老	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
顔	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
風	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
蟹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鐘	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
壁	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
釜	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
雉(きじ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
傷	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
霧	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
釘	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
口	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
首	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鍬	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
腰	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
胡麻	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
之	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
酒	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
袖	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
竹	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
爪	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鳥	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
庭	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
布	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
箱	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
端	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
蜂	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
羽根	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
蠅	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鼻	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
髯	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
星	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
水	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
道	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
虫	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
桃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
森	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
槍	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
床(ラ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
横	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
嫁	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
壺	□	□	□	□	○	○	□	□	○	○	○	○	○	○	□/○
第2類															
あれ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
蟬	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
梨	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
人	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
胸	+	+	+	+	+	+	○	○	+	○	○	○	○	+	○
肘(ジ)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	○	○	(普)○+	○	○
橋	+	+	+	+	○	+	+	+	+	+	+	○	○	○	○
石	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	○	○	○	○
紙	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	○	○	○	○
殻	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	○	○	○	○
川	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	○	○	○	○
弦(ン)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	○	○	○	○
雪	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	○	○	○	○
型	+	+	+	+	+	+	+	+	+	○(希)	+	+	○	○	○
北	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	○+	+	○+	+	○
垣	+	+	+	+	+	+	+	+	+	○(希)	+	+	○+(共(ニ)希)	+	+
いが	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	○+	+	+
岩	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	○+	+	+
音	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	○	+

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
蔦(ツタ)	+	+	+	○	○	○	+	○	+	○	+	+	+	+	+
痣(アザ)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
歌	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
串	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
鞍	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
旅	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
夏	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
旗	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
昼	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
冬	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
町	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
村	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
技	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
下(シモ)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	□
余所(ヨソ)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	□	+
鰺(アジ)	+	+	+	□	□	□	+	+	+	+	+	□	+	+	+
次	□	□+	□	□	□	□	□	□	+	□	□	□	□	□	□
杭(クイ)	□	□	□	□	□	+	□	□	□	□	□	□	□	□	□
牙	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
妻	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
虹	□	□	□	□	□	□	□	○	□	○	□	□	○	(普)○□	+/○
八重	□	□	□	+	□	□	□	□		□					
塚	+	+	○(希)	+	○	+	+	+		○(希)					
第3類															
菊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+	+	+	+	+
月	+	+	+	+	+	+	+	○	○	+	+	+	+	+	+
岸	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	○	+	+	+
家[1]	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
犬[2]	+	+	+	+	+(幼)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
馬[3]	+	+	+	+	+(幼)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
塩[4]	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
垢	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
麻	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
足	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
穴	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
網	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
池	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
芋	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
色	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
蛆	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
腕	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
畝(ク)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
裏	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
鬼	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
親	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
鍵	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
瓶(ク)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
皮	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
草	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
櫛(ク)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
糞(ク)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
熊	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
倉	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
栗(ク)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
苔	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
米	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
竿	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
坂	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
錆(ク)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
舌	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
島	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
霜	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
脛(糸)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
炭	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
墨	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
丈	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
谷	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
玉	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
土	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
綱	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
角(冫)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
面(⺕)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
弟子	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
毒	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
年	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
波	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
縄	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
糠(米)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
熨斗(⺈)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
蚤	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
海苔(⺮)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
墓	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
刷毛(⺮)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
恥	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
鉢	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
撥(扌)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
花	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
浜	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
腹	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
鞁(⺈)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
房	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
節	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
縁(ウ)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
堀	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
幕	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
孫	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
枡(ス)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
股	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
豆	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
店	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
耳	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
室(ム)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
物	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
樹脂(ン)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
山	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
指	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
弓	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
夢	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
腋(ス)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
枠	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
綿(ク)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
靴	+	+	+	□	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
肝	+	+	+	+	+	□	+	+	+	+	+	+	+	+	+
茎	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	□	+	+	+
芹(ケ)[5]	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+⌒□	+(+も聞)
髪	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	□	+
組	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	□	+
時	+	+⌒□	+	+	□	□	□	+	+	+	+	+	+	□	□
桑[6]	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	□	□	□	□	□
膿(ミ)	+	+	+	+	+	+	+	+	□	+	□	□	□	□	□
鰐(ニ)	+	+	+	□	□	□	+	+	+	□	+	+	□	□	+
泡	□	+	□	+	+	+	□	+	+	+	□	□⌒+	□	+	□
雲	□	□	□	□	+	+	□	□	□	□	□	□	□	□	□

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
貝[7]	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
鯛	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
塔	□	□	□	□	□	□	□	□		□					
鞠(ウ)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
姪(イ)	□	□	○	□	○	□	□	□	□	□	○	○	○	○	□
柄(ジ)	+(希)	+	+	+	○(?)	+	+(希)								
神	□	+(希)	+	+	+	□	+	+		+					

注1） +＝エーとも。　注2） +＝インとも。　注3） +＝マーとも。
注4） +＝ショーとも。　注5） +＝セーリ(ガ)とも。
注6） +＝クワーとも(西吉尾のみカーとも)。　注7） □＝ケーとも。

第4類															
下駄(タ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
他(ホ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
桁	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+	○	○	○
いつ	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	○	○	○	○	○
何[8]	□	□	□	□	□	□	□○	□	□	□	□	□	○	○	○
へら	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	○	□	□○	□	□
罠	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	+	+	+	+	□
杖	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	+	+	+/□
鍔(ン)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	+	□	□	□	+	□
粟(ウ)	□	□	□+(?)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
銭(ニ)[9]	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
紅[10]	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
絹[11]	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
跡	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
息	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
板	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
市	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
糸	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
稲	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
臼	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
海	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
瓜	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
帯	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
櫂(ケ)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□					
笠	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
糟	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
数	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
肩	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
角(ケ)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
鎌	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
上(ケ)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
杵(ケ)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
今日	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
錐	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
屑	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
管(ケ)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
今朝(ケ)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
鞘	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
汁	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
筋	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
隅	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
外	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
側(ケ)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
空	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
種	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
乳	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
槌(ケ)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
粒	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
罪	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
苗	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
中	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
主(ズ)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
鑿(ミ)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
箸	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
肌	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
針	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
舟	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
松	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
味噌	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
蓑(ジ)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
麦	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
宿	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
藁(ラ)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
我(ア)〈お前〉	□	□	□	□	□	□	□	□		□					

注８）□＝ナン(ダ)の形で答えたもの。　注９）□＝ゼンとも。

注10）□＝ベンとも。　注11）□＝キンとも。

第5類															
朝	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□⌒+	+/□
鮎	□	□	□	□	□	□	□	□	□	+	□	□	□	□	□
縦	□	□	□	□	+	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
蛭(ヒ)[12]	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
蛇[13]	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
藍	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
青	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
赤	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
秋	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
汗	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
兄	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
虻(ア)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
雨	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
井戸	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
桶	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
牡蠣(ケ)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
蔭	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
黍(キビ)	□	□	□	□	□	□	□	□		□					
蜘蛛	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
黒	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
鯉	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
声	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
琴	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
鮭	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
猿	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
白	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
足袋	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
露	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
鶴	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
鍋	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
春	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
鮒(フ)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
前	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
窓	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
眉	□	□	□	□	□	□	□	□(希)	□	□	□(希)	□	□	□	□(希)
繭	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□(希)	□	□	□	□
婿	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
腿(モ)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

注12）　□＝ヘーロないしヘールとも（□の中にもヘロ多し）。

注13）　□＝ヘービとも。

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
第x類															
上(空)	○(○)	○(○)	○(+)	○(+)	○(+)	○(○)	○(+)	○(○)	○(+)	○(+)	○(+)	+(+)	○(+)	+(+)	+(+)
うち(家)	○(○)	○(○)	○(+)	○(○)	○(+)	○(○)	○(+)	○(+)	○(+)	○(○)	○(+)	+(+)	○(+)	○(○)	○(+)
下(ヶ)	○(○)	○(○)	○(+)	+(+)	○(+)	○(○)	○(+)	○(+)	○(+)	○(+)	○(+)	+(+)	+(+)	+(+)	+(+)
	(　)内は連体詞アノの付いた時の形。														
ここ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
そこ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鳩	+	+	+	+	+	+	□	+	+	□+	+	□	+	+	□
鴨	+	+	+	+	+	□	+	+	+	+	+	□+	+	(普)+□	□
蛸(タ)	+	+	+	+	□	□	□	□	+	□	+	□	+□	□	+
亀	□	□	□	□	□	□	□	+	□	+	□	+	+	+	+
沖	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
本(下)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
奥	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
今	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
夜	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
その他															
鹿	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
紫蘇(ジ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
晩	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
豚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
塀	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
棒	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
椅子	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	+	○	○
鉄	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	○	+	○	+
顎	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
砂	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
寺	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
肉	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
熱	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
糊	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
罰(チ)	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
百	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
服	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
骨	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
嘘	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	□⌒+	+	+	+
樽	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	□	+
一	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	□⌒+	□⌒+	□	+/□
七	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	□⌒+	□⌒+	□	+/□
八	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	□⌒+	□⌒+	□	+/□
六	+	+	+	+	+	+	+	+	□⌒+	+	+	□⌒+	□⌒+	□	+/□
知恵	□	□	□	+	□	□	□	□	+	□	□	+	+	□	□
凧(タコ)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	+	□	□	□	□
運	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
斧	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
菓子	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
火事	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
金(キ)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
千	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
天	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
十(ト)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
猫	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
喉(イ)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
蜜	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
蠟	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
象	○	○	○	○	□	○	○	○	○	○	○	○	□	○	○
三	○	○	○	○	○	○	○	○	○	□⌒○(?)	○	○	○	○	○
溝(ミ)	○	○	□	+	+	○	+	+	□	○	+	○	+	+	○/+

表 5 3音節名詞

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
第1類															
形	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
車	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鰯(イワシ)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
飾り	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
着物	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
子供	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
魚	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
桜	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鼻血	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
羊	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
柳	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
煙[1]	○	**○**	○	○	○	○	○	**○**		○	○	○		**○**	
	注1） ○＝ケブ(ガ)とも。														
第2類															
毛抜[2]	＋	＋	∩	＋	＋	＋	＋	＋	＋	○	○	○	○	○	∩(?)
小豆	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	○	○	○
夕べ	○	＋(希)	○(希)	＋(希)	＋(希)	＋	＋(希)	＋(希)	＋	＋(希)	○＋(芋希)	＋	＋(希)	＋(希)	＋(希)
女	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋
東	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋
二つ	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋
二人	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋
三つ	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋
娘	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋
六つ	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋
八つ	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋
四つ	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋	＋
	注2） ∩＝ケーヌキとも。														

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
第4類															
仏	○	+	+	○	+	○	○	+	+	○	○	+	+	○	+
鯉(ヲ)	+	○	+	+	+	○	+	+	+	+	+	+	⌒	+	⌒
あした	+	○	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
暦	+	+	+	+	+	○	+	+	+	+	⌒	+	⌒	+	+
うちわ	⌒	⌒	⌒	⌒	+	⌒	⌒	⌒	⌒	+	⌒	+	⌒	⌒	⌒
鋏	⌒	⌒+	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	+	+	⌒	+	⌒	⌒
言葉	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	+	+	⌒	+	+	+	+	+	+
光	+	+	+	⌒	+	+	+	+	+	+	⌒	⌒	⌒	+	⌒
鯰(ナマズ)	+	+	+	+	+	⌒	+	+	+	+	+	+	⌒	+	⌒
刀	+	+	⌒	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	⌒	⌒+/+
頭	+	+	+	+	+	+	(普)⌒+	+	+	+	+	+	+(?)	+(?)	⌒
鏡	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	⌒	+	+	+	+
男	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+(?)	+(?)	+
宝	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
俵	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
袋	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
鶉(ウズラ)	□(希)	□+	□	+(希)	+	□○	+	□	□○ (豆)(鳥)	□○ (?)	○	○	○	○	○
第5類															
簾	○	○	○	○□	□	□	○	□	+	○	○	○	○	○	○
油	□	□	□	□	□	□	○□	□	○□	○□(多)	○□	□	○□	□	□
柱	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	○□	□	○□	□	□
枕	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	○□	□	□
わさび	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	○□	□	□
鮑	□	□	□	□	□	□	□	□	□	+	□	□	□	□	□
胡瓜	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
錦	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
火箸	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
箒	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
紅葉	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
親子	□	□	□	⌒□	⌒□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
涙	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	+	⌒	□	□	⌒	□
命	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒□	⌒(?)	□
朝日	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒(?)	⌒
五つ	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒
心	⌒	⌒	⌒(?)	⌒(?)	⌒	+	+	⌒(?)	+	+	+⌒	⌒	⌒(?)	⌒(?)	⌒
いとこ	+	+⌒	⌒	+	+	+	+	+	⌒	+	+	+	+	+	+
鰈[3]	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	○□	□	□	□	□

注３）　□＝カレと短かい形も。

第6類															
あやめ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
燕	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
裸	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
はだし	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
広さ	○	○	○	○	○□(希)	○	○	○	○	○	○	○	○□	○	○
蛙	○	○	○□	○□	○□	○	○□	○□	○	○	○	○	○	○	○
みみず	○	○□	□	□	□	(希)○□	○□	○	□	○	○	○	○	○	○
ひばり	□	□	□	□	○	○	○	□	□	□	□	○□	○	○	○
雀	□	□	□	□	○	□	○□	□	□	○□	○□	□	○□	○□	□
兎	□	□	□	□	○□	□	○□	□	○□	○□	□	□	○□	□	□
長さ	□	○□	□	□	□	□	□	□	○□	□	□	□	○□	□	□
すすき	□	□	□	□	○□(共/希)	□	□	□	□	(希)○□	□	□	○□	□	□
高さ	□	□	□	□	○(希)	□	□	□	○□	⌒□	□	□	○□	□	□
田んぼ	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	○	○□	□	□
背中	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	○□	○□	□	□
大人[4]	□	○□	□	□	□	□	□	□	□	(希)○□	□	□	○□	□	□
李(ス/ミ)	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	○□	□	□
団子	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	○□	□	□
鷗	□	□	□	□	○	○	⌒	+	□	○	○□	□	○□(共/希)	○	□/○

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
虱	◠	◠	◠	◠	○	◠	◠	◠	◠	+	◠	+	◠	◠	◠
狐	◠	◠	◠	◠	+	+	+	◠	◠	+	+	+	+	+	+
鰻	+	○+	+	+	○	○	○	+	+	+	+	○	○	○	○
左	○	○	○	□	+	○	+	+	○	○	+	○	+	+	+
蓬	□	○□	□(希)	□	□	□	□	□	○(希)	○					
	注4） □＝オートナとも。														
第7類															
畠	○	○	○	○	+	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
後	□	□	□	□	○□	□	○□	○□	○□	○□	○□(希)	○□	○□	○□	□
鉛	□	□	□	□	○	○	○□	□	○□	□	○	○	○□	○	□/○
盥	□	□	□	□	□	□	□	□	○	○	□	○□	○	○	□
鯨	□	□	□	□	□	□	○□	□	□	□	□	□	○□	○□	□
千鳥	□	□	□	□	□	□	□	□	□	○	□	□	○□	□	□
緑	□	□	□	□	□	□	□	□	□	○□	□	□	□	□	□
便り	□	□	□	□	□	□	□	□	□	+	□	□	○□	□	□
辛子	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□+(希)	□	□	○□	□	□
蚕	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
兜	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
椿	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
卵	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	□	◠	□◠	◠	◠	□
一つ	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠
一人	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠
薬	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	+	◠	◠	◠	◠	◠
病	□	□	□	□	□	□	□	□	□						
第x類															
間	○	○+	+	○	○	○	+	○	○	○	+	+	+	+	+
足駄	○	○	○	○	+	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
あくび	+	+	○	○	○	○	○	○	◠	○	○	○	○	○	○
あぐら[5]	□	□	+	□	+	○	□	+(希)	○	○	○(希)	□	○	□(希)	□
わらじ[6]	□	◠	◠	□	◠	□	◠	◠	□	□	□	□	○	□	□
力	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
嵐	+	+◠□	○	+□(多)	□	+□(強)	○□	+	+□	◠□	○□(強)	+□	○□	○□	+/○
柏	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
とかげ	□	○◠	□	○	○	○	○	○	+	○	+	○	○	○	○
つるべ	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	○	+	○	○	+/○
斜め	○	○	○	+	+	○(+も?)	○	○	+	○	○	+	○	○	○
蕨	+	+	◠	□	□	+(□も?)	+□(多)	+	+	+(□も?)	□	□	○□	□	□
仲間	+	○	○	○	+	+	+	+	○	+	+	+	+	+	+
盲	+	+	○	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+	+
狸	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	○□	□	□
蛍[7]	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	○□	□	□
炎	◠	◠	◠	◠	◠	◠	□	◠	□	◠	○	◠	○	◠	◠(希)
烏	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	□	○□	□	□
翼	○	○	○	○	○	○	○□	○	○	○	○	○□	○	○	○
南	+	+	+	+	+	○	○+(多)	+	+	+	+	+	+	+	+
さざえ	◠	◠	□	□	□	+(□の人も)	□	□	□	□	○□(多)	□	○□	□	□
泉	□(希)	○	+	+	○	□	+	+		+					

注５）　○＝アングラ(ガ)とも。　　注６）　□＝ワランジ，○＝ワランジ(ガ)とも。

注７）　□＝ホータルとも。

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
その他															
小麦	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠○(多)	◠	◠	◠	◠	◠○(多)	◠	◠	◠
岬	□	(多)□○	○	＋(希)	○	○□	＋	＋	＋	＋	○	○	○	○	○
黄金	○	○	◠	○(希)	○	◠(希)	＋(希)					◠(○もか)			
付															
4音節															
鶏[8]	○	○○＋(出)	◠	◠◠		○	○(希)	○	○	○	○	○	○	○	○
金持	＋	＋—	—	◠		◠	＋	—	＋	○	○	○	○	○	○
こうもり	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	○□	□	□
蜜蜂	□	□	—	—		—	—	—	□	—	□	□	—	□	□
紫	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
朝顔	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
渦巻	—	—＋	—	—		◠	—	—	—	—	—	—	—	—	◠/□
雷	＋	＋	◠	◠		◠	◠	＋	＋	＋	◠	◠	◠	◠	◠
甘酒	＋	＋	◠	◠		◠	＋	＋	＋	◠	◠	◠	◠	◠	◠

注8） ○＝ニワットリ(ガ)，◠＝ニワットリ。

表 6 助 詞

無核名詞＋助詞															
血も	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
風も	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
魚も	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(エ)柄から	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鼻から	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
魚から	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
血まで	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
風まで	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
桜まで	○	◠	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
血でも		◠	◠	◠			◠	◠	◠	○◠	◠	◠	◠	◠	◠
風でも		◠	◠	◠			◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠
魚でも		◠	◠	◠			◠	◠	◠	◠	◠	○◠	○◠	◠	◠

表 7 2音節動詞

第1類															
着る	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
煮る[1]	**○**	**○**	**○**	**○**		○	○	**○**	**○**	**○**	**○**	**○**	**○**	**○**	**○**
寝る	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
買う	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
聞く	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
泣く	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
鳴る	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
貸す	○	○	○	○(希)		○	○	○	○	○	○(希)	○(希)		○	○(希)
行く	○								○		○	○	○	○	○
死ぬ									○		○	○	○	○	○
	注1） ○＝ニ$\overline{\text{ール}}$とも。														
第2類															
出る	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
見る	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
書く	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
切る	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
食う	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
立つ	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
飲む	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
第3類															
(オ)居る	○	○	○	○		○									
(イ)居る		○					○	○	○	○	○	○	○	○	○

表 8 3音節動詞

第1類															
明ける	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
上げる	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
当てる	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
負ける	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
遊ぶ	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
笑う	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2類															
起きる	◠	◠	◠	◠		◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠
掛ける	◠	◠	◠	◠		◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠
下げる	◠	◠	◠	◠		◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠
晴れる	◠	◠	◠	◠		◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠
動く	◠	◠	◠	◠		◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠
思う	◠	◠	◠	◠		◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠
払う	◠	◠	◠	◠		◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠
第3類															
歩く	◠	◠	◠	◠		◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠
隠す	◠	◠	◠	◠		◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠
入る	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

表 9　4音節動詞

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
第1類															
生まれる	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
忘れる	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2類															
倒れる	⌒	⌒	⌒	⌒		⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒
離れる	⌒	⌒	⌒	⌒		⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒
答える	—	—	—	—		—	—	⌒	—	⌒	—	⌒	⌒	⌒	⌒
その他															
重なる	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
喜ぶ	⌒	⌒	⌒	⌒		⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒

表 10　動詞活用形

過去形															
着た	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
泣いた	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(オ)居った	○	○	○	○		○									
(イ)居た		○					○	○	○	○	○	○	○	○	○
上げた	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
笑った	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
遊んだ	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○
重ねた	○	○	○	○		○	○	○		○	○	○	○	○	○
見た	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
書いた	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
切った	+	□	+	+		□	+	+		+	+	□⌒+(普)	+	□⌒+	+
下げた	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
払った	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
歩いた	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
(ハイ)入った	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□—	□	□	□
別れた	—	—	—	—		—	—	—		—	—	—	—	—	—
禁止形															
着るな	◠	◠	◠	◠		◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠(○も?)	○	○	○
泣くな	◠	◠	◠	◠		◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠(○も?)	○	○	○
(オ)居るな	◠	◠	◠	◠+		◠									
(イ)居るな		◠				◠	◠(○も?)	◠	◠	◠	◠	◠(○も?)	○	○	○
上げるな	◠	◠	◠	◠		◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	○	○	○
笑うな	◠	◠	◠	◠		◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	○	○	○
見るな	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
書くな	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
下げるな	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
払うな	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
歩くな	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
入るな	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
仮定形															
着れば	◠	◠	◠	◠		◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠
泣けば	◠	◠	◠	◠		◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠
(オ)居れば	◠	◠	◠	◠		◠									
(イ)居れば		((◠も?))				◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠
上げれば	◠	◠	◠	◠		◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠
笑えば	◠	◠	◠	◠		◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠	◠
見れば	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
書けば	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
下げれば	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
払えば	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
歩けば	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
入れば	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□

表 11　形容詞

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
2音節															
無い	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
良い[1]	□	□	□	□		□	□	□	□	□	□	□	□	□	□
	注1）□＝エーないしイーとも。														
3音節															
第1類															
赤い	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
厚い	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
堅い	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
軽い	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
暗い	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
第2類															
青い	⌒	⌒	⌒	⌒		⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒
熱い[2]	⌒	⌒	⌒	⌒		⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒
黒い	⌒	⌒	⌒	⌒		⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒
白い	⌒	⌒	⌒	⌒		⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒
高い	⌒	⌒	⌒	⌒		⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒
	注2）⌒＝アッツイとも。														
4音節	（その他も含めてまとめて示す）														
危ない	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
嬉しい	⌒	⌒	⌒	⌒		⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒
悲しい	⌒	⌒	⌒	⌒		⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒
めでたい	⌒	⌒	⌒	⌒		⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒	⌒

表 12　形容詞活用形

	名立町						上越市								
	名立大町	名立小泊	大管	森	西蒲生田	瀬戸	西吉尾	皆口	茶屋ヶ原	西戸野	長浜	虫生岩戸	五智	春日	直江津
連用形															
赤く(なる/ない)	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
暗く(なる/ない)	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
白く(なる/ない)	□	□	□	□		□	◠	□	◠	◠	◠	□	◠	◠	◠
黒く(なる/ない)	□	□	□	□		□	◠	□	◠	◠	◠	□	◠	◠	◠
過去形															
無かった	□	□	□	□		□	□	□	□	□	—	□	□	—	□
赤かった	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
暗かった	—	—	—	—		—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
白かった	□	□	□	□		□	△	□	△	△	△	□	△	△	△
黒かった	□	□	□	□		□	△	□	△	△	△	□	△	△	△

3.2　表の順に簡単な考察をしていく。

表3の1音節名詞は中輪＝外輪で問題はない。「矢」を含めて全域1・2類対3類（但し，茶屋ヶ原のみ「矢」にマデ，デモがつくと$\overline{ヤ}$マデ，$\overline{ヤ}$デモ）となっている。例外の「藻」は，そしてまた「帆」も，日常語でないからで，この種のことは，逐一の言及は避けるが，他でもよく起こることである。第x類では「巣」が無核な点，「その他」では「九」「五」対「二」「四」の対立を保っている地点のあるのが目立つ。

表4の2音節名詞では，第1類は問題ない。注目の第2類は，「梨」など全域無核のものもあるが，何といっても「石，紙，殻，川，弦，雪」の/○○/の等語線が長浜と虫生岩戸の間を走っているのが目立つ。「橋，肘，型」などもこれに近い。（「蔦」はむしろ逆で，第3類の「菊」に近いくらいである）。しかし一方で「痣」以下全域/○○˥/の単語も多い点も（「牙」など全域/○˥○/のものと共に）忘れてはならない。これらの意味する所は，第1節で述べたように，全国的視野から改めて考察しなければならない。

第3類は語彙が多いが，「菊」と「桑」以外，特に本テーマに関係することはない。個別的には「雲，鞠」の/○˥○/，「海，粟」と合流してしまう「膿，泡」の/○˥○/の存在，「芹」の/セーリ˥/等が目立つくらいである。

第4・5類も全域ほぼ同じである。「下駄，他，桁」が東京と同じく無核なほか，「いつ，何」等の無核形や「罠，杖」等の/○○˥/の等語線が長浜付近にあることぐらいであろう。ヘーロ(蛭)，ヘービ(蛇)を得てから，琉球方言で長母音で出る単語を中心に聞いてみたが，他には長母音を含む形は得られなかった。

第x類では「ここ，そこ」等のまとまりに比し，「鳩」以下の動物類のバラツキ――「亀」自身には/○˥○/の地理的まとまりがあるが――が対照的である。恐らく東京などと同じように，動物類は意味上の要因でそれぞれに頭高型に合流しつつあるのであろう。東側の「上，下」は単独でも核を持つ。

「その他」は個別的に問題のありそうな単語を中心に選んだが，全域よく一致している。数詞の地域差は，直江津の世代差から見ても頭高型が新しく発生したものであろう（もっとも，数詞は連続して数える時の形も考慮に入れなければならない）が，その変化がやはり虫生岩戸まで及んで長浜との間で線が引かれるのは，両地点間の交流の少なかったことを物語っている。

以下，個別的なことは省略し，本題に関連することに限定して述べる。

表5のうち，3音節名詞第2類には金田一氏が言及した「表1」の1「小豆」が含まれており（「毛虫」は調査しなかった），中輪の/○○○˥/と外輪の/○○○/の対立を示している。その等語線は，虫生岩戸/五智間にあって「石，川」等と完全には一致せず，同類とされる「毛抜」との間でも異なっている。がともかく，虫生岩戸の辺りに集中して走っている等語線の一つであることは間違いない。「女」以下は，（東北方言でもそうであるが）ここでの外輪式と見られる地域でも全域核を持っている（第2類の問題点の一つである）。

第5類は「表1」の3に当たるが，地域差というよりは単語による差として/○˥○○/と/○○˥○/に分かれて出てきている。分出していることの説明（中輪と外輪の接触？），および頭高型成立のプロセスは今後の課題である（金田一 1978, p. 8参照）。地域差では「涙，命」が中輪/外輪の型を示す。

第6類は「表2」の9であるが，ここでも分出が見られる。今度は/○○○/と/○˥○○/で，しかも併用の多いのが特徴である。地域的には五智（のこの話者？）に併用が目立つ。無核型への変化と併用現象については金田一氏に説がある（1978，p.12f.――ただし外輪式の「命」類に関する氏の説をとるならば，それを時代をずらして中輪式の「兎」類に平行的に適用することも

可能と思われる)。

第7類も第6類に似ているが，無核専用型が少なく，代わりに，/○˥○○/だけのものの他に,「卵，一つ」等の(ほぼ)全域/○○˥○/のものが出ている。

第x類には「表1」の2「力」があるが，全域外輪系の無核となっている。「さざえ」や，「その他」で取り上げた「小麦」以下も「力」と共に第3類をなすとされることがあるが,「小麦」は/○○˥○/,「さざえ」は多く/○˥○○/であり，一方,「岬」と特に「黄金」は，日常頻用されないためであろう，明瞭な分布は示さない。「つるべ」の分布は第2類の「小豆」「毛抜」に近い。

表6は無核名詞に付く助詞のアクセントを取り上げた。問題の「まで」(「表1」の8と「表2」の13)は全域がチマデ，カゼマデで，いわば外輪系となっている。一方，付属語連続(に少なくとも由来する)「でも」は全域/デ˥モ/と核を持つといっていい状態である(因みに私の岩手方言では,カゼデモ＝カゼマデ＝カゼカラである)。助詞のアクセントにはっきりした地域差は見つかっていない。

ここで2音節名詞の各型を例に,助詞のアクセントを付記しておこう(右上の⁻は無核の印。トは並列)。

カゼ　カゼト⁻　カゼノ⁻　カゼモ⁻　カゼカラ⁻　カゼマデ⁻　カゼデモ
イヌ　イヌト　イヌノ⁻　イヌモ　イヌカラ　イヌマデ　イヌ(デ)モ
ナベ　ナベト　ナベノ　ナベモ　ナベカラ　ナベマデ　ナベ(デ)モ

1音節名詞でも平行的であるが，手トに対して手ノであるほか,「日」がヒモに対してアノヒカラである(なお茶屋ヶ原と五智は「日と(月)」をヒトに)。

表7～9は動詞の基本形(終止・連体形)のアクセントである。「答える」が西側がコタエル，東側がコタエルと分かれる以外の地域差はなく，その音調型も東京(中輪式)と同じである。「居(オ)る」を用いる地域でもオルモノで第1類と変わりがない。因みに「居(オ)る」の東端線は名立町と上越市の境界を走っている。表の「居(オ)る/居(イ)る」の欄だけは，用いる方に符号を付けた。

表10は動詞の活用形を取り上げた。過去形は,「切った」が大部分キ(ッ)タモノとなる以外，全域東京と同じであるといってよい。

次の禁止形は，有核動詞では全域東京と同じであるが，無核動詞では「表2」の15の中輪／外輪の対立をはっきり示している(ナクナ/ナクナ)。境界の虫生岩戸では，最初キルナ，ナクナ，イルナと答え，次いでアゲルナ，ワラウナと答えたので，もう一度聞き直した所，今度はキルナ，ナクナ，…で一貫した。併用かと質した所，キルナは確かだが，キルナは《あいつはまた変わった服を着そうだな》などの意のキルナの方かな？と迷い，結局はっき

りした答えは得られなかった。キ$\overline{ルナ}$が無いとなれば，その線は機械的には虫生岩戸と五智の間に引かれることになる(ただし実際には，虫生にもキ$\overline{ルナ}$のみの人がいたり，キ$\overline{ル}$ナとキ$\overline{ルナ}$をスタイルで使い分ける人がいたりする等の可能性は勿論ある)。なお表にはキ$\overline{ルナ}$は無核の符号で表わしておいたが，核の有無は未詳である。同じく核の有無を調べ忘れたので表には載せなかったが，命令形のアクセントも全域東京と外形上は同じである。（因みに柏崎市出身の20歳台の話者によれば，ナ$\overline{ク}$ナとナ$\overline{クナ}$を併用し，後者はナ$\overline{クナ}$ヨとなる。ナ$\overline{ケ}$もナ$\overline{ケ}$ヤとなる。ただしヤ・ヨそのもののアクセントは未詳。）

禁止形と同じ現われ方をすると予想された仮定形(「表２」の14）は，無核・有核動詞とも全域が東京と同じで，ナ$\overline{ケバ}$は全く現われなかった（前出の柏崎の話者もナ$\overline{ケ}$バ型のみ)。この点は注目していいことと考える。

表11の形容詞の基本形は,「悲しい」の所属が変わっているぐらいで問題はない。

その活用形（表12）では，截然とではないが西側の$\overline{シ}$ロクに対する東側のシ$\overline{ロ}$クの分布が見られる（表５の第７類や表10の「下げた」を比較参照)。この分布は$\overline{シ}$ロカッタとシ$\overline{ロ}$カッタのそれと完全に一致する。しかし「無かった」とは一致せず，シ$\overline{ロ}$カッタでも$\overline{ナ}$カッタという地点が多い。しかし，頭高型の形での統一ではないものの，シ$\overline{ロ}$イ，$\overline{ナ}$イと核の位置が同じであり，いずれもカッタの直前に核があるという形で釣り合いがとれている。「赤かった」は全域同じであるが，ア$\overline{カ}$カッタではなくア$\overline{カカ}$ッタである。これ故に$\overline{シ}$ロカッタは，類推でシ$\overline{ロ}$カッタになってもア$\overline{カカ}$ッタとの対立は保持される。

４．ま と め

現段階で明確に述べることのできる点は少ないが，一応のまとめをしておこう。

その１：金田一氏のあげた特徴に従ってこの地域を概括的に分割して図示すれば次のようになろう（「石，川」も番号０として加える)。

図　２

	大町	長浜	虫生岩戸	五智	直江津	
中輪	イ$\overline{シ}$ガ，カ$\overline{ワ}$ガ		イ$\overline{シ}$ガ，カ$\overline{ワ}$ガ（０）			外輪
	キ$\overline{ル}$ナ			キ$\overline{ルナ}$（15）		
	ア$\overline{ズキ}$ガ			ア$\overline{ズキ}$ガ（１）		
全域中輪　キ$\overline{レ}$バ（14）						
チ$\overline{カラ}$ガ（２） チ$\overline{マ}$デ（８） カ$\overline{ゼマ}$デ（13） 全域外輪						

即ち，いくつかの特徴の中輪／外輪の境界が集まる中に，全域中輪のもの，全域外輪のものもあるという状態である。この図には代表例しかあげなかった2音節名詞第2類の語彙全般の分布もまた図2に似て，境界が集まる中に，全域核のあるもの，全域核のないものも存在している。第2類全体が同一の行動をとっている訳ではない。

その2：図2に従えば中輪／外輪両アクセントの境界線は虫生岩戸を中心に引かれる。長浜と虫生岩戸間と，虫生岩戸と五智間のいずれか一方となれば，前者をとるべきであろう。後者の「小豆」は孤例であるし，「着るな」の類は文法事項であり，語例も当然多く重要視すべきとの考えもあろうが，事実上は〝1項目〟である。類推変化でも生じれば一度に大幅に移動してしまう。それよりも個別性を保ちつつまとまっている「石，川，紙，雪，…」の方を重視する立場である。図2には入れなかったが，番号3「涙」もその論拠の一つに数えることができよう。いずれ幅のあるものではあるが，金田一氏の分布図の境界線はもっと東に寄せなければならない。

ただし，これにはいくつかの留保条件がつく。まず縮少した地図上の線をあまり厳密に読みすぎるのは問題がある。分布のアウトラインを示すことが主目的であろうし，また作図，製版の過程でズレが生ずることは充分ありうるからである。また金田一氏の（ないし氏の依った報告の元の）調査と私のとでは年齢層が異なっていて，その間に世代的な変化が起こって，それで境界線がずれている可能性も考えておく必要がある。

二人が共通に調査した地点のデータが一致する場合でも，調査地点の密度によって境界線はかなり変わってくる。かなり離れた2地点の間に大きな対立が発見されて，しかもその中間地帯が調査されていない場合，その間にある政治・社会的境界や自然地理環境に着目して任意の境界線を引くことはよく行なわれることであり，またやむを得ないことでもある。鈴木一郎氏は「新潟県下アクセント分布について」（『音声学協会会報』第71号，1942）で中輪式と外輪式に相当する区別を，片や能生町と上早川村（今は糸魚川市），片や直江津と高田市との間に見出した後，境界線を未調査区域の西頸城郡と中頸城郡との郡境（今の，名立町と上越市の境）に引いている。私は西の方を調べていないが，恐らく氏の説は私見と相容れない形で対立するものではないであろう。（私の調査密度も集落単位で，しかも1集落1人である。境界付近で年層別調査や全数調査をすれば，そして1個人の内部まで踏み込めれば，密度は更に濃くなる——もっともそうなると，境界線というレベルの話しではなくなるであろうが。）

その3：しかし以上は未だ実態報告にとどまっている。図2や2音節名詞第2類全般の分布の仕方が持つ意味をどう解釈するかをはじめ，未解決の課題は多い。中輪式の自律的成立基盤そのものも問題になるかもしれない。また，ここでは金田一氏の説を与えられたものとして出発しているが，地理的分布の方から逆に再び元に立ち返ってみる必要もあるであろう。これらは，他の境界地域で進めている調査の結果も取り入れながら考えていきたい。

【付記】　この調査でお世話になった話者の方々ならびに名立町教育委員会に御礼申し上げる。なおこの調査は，日本学士院西太平洋地域言語地図作成委員会からテーマを与えられ，かつ同会より受けた研究調査費を用いて行なわれたものである。

【追記】　虫生岩戸の話者には，一通り調査が終わった後でもう一度2音節（なお本稿では特にモーラと区別せず）名詞第2類を聞いてみたが，一度目と全く同じ答えが得られた。なお調査方法は，いわゆる「読む調査」を用いた。

表5に付した4音節名詞では，「金持」の○と＋にも分布がある。このように，図2には取り上げなかったが，茶屋ヶ原/西戸野間あるいは西戸野/長浜間に等語線の引かれるものが，中輪側から見た等語線をも含めて，いくつかある。

否定形のアクセントは全域同じで，無核動詞はン形・ナイ形ともに無核，有核動詞はンの直前とナにそれぞれ核がある。但し，東側に一段活用はナイ形専用の傾向がある。